

IIDA CITY

広報

いいだ

【特集】

ともに暮らし ともに生きる
～地域共生社会を目指して～



上久堅の各地に届けられる配食弁当
【食工房 十三の里】

地域の食材を使い、栄養バランスも考えられた
彩り豊かなお弁当。配達を待っている人のため
にと、地域で支え合う温かい気持ちが詰まってい
ます(2ページで紹介)。



配食サービス

食事を作るのが困難な方などに、栄養バランスのとれたお弁当を定期的に配達するサービスです。

上久堅地区では配達の際に、1人暮らしや高齢の方への声かけや安否確認が行われており、民生児童委員とも連携しています。



食工房 十三の里の皆さん(上久堅)

「上久堅地区の配食弁当」を平成22年から行っています。

上久堅地区の方が健康で元気に暮らせるよう、食事の面での不安を軽減したいと地域の方々が立ち上げた「食工房 十三の里^{とさ}」。メニューの考案、食材の調達、調理、週2回の配達まで全て行っています。月1回パンの販売も行っており、パンを求めて地区内外からお客さんが訪れます。また、楽しみながら作る仲間の輪が広がることも期待しています。

ともに暮らす ともに生きる

～地域共生社会を目指して～

「地域共生社会」とは、地域の誰もが安心して暮らせるよう助け合い、住み慣れた地域で共に生きていくことができる社会をいいます。「飯田」の語源といわれる「結いの田」も、ご近所さんで農業を助け合う地域共生社会の一例であるといえます。

少子高齢化、核家族化、個人の価値観やライフスタイルの変化などを背景に、人と人とのつながりが薄れてきた近年では、個人や家族が抱える問題が複雑で、外から見えにくく、公的支援だけでは対応が難しくなっています。

こうした地域社会の変化と、直面する課題に対応しようと取り組んでいる皆さんやその活動を紹介します。

ふれあいサロン



屋外でクイズを楽しむ皆さん(鼎上山)

地域の方が一緒に体を動かしたり、おしゃべりしたりする場所です。多くの方が気軽に集まっただけのように、工夫を凝らした「ふれあいサロン」が地域の方によって行われています。自然と顔の見える関係ができ、時には悩みや不安を共有する場所でもあります。

1月28日に鼎上山地区の ふれあいサロンにお邪魔しました!!

健康福祉委員会の支部長である細井ひろみさんが中心となり、上山区民センターで行われています。コロナ禍において、屋内で開催することが難しくなってきたからは屋外で活動をしています。この日は16名の皆さんが集まりました。細井さんの出すクイズに回答したり、体操をしたり、参加者のハーモニカ演奏に合わせて歌を唄ったりと笑顔が溢れていました。



細井ひろみさん

住民支えあいマップ

「住民支えあいマップ」は、災害時の避難の際に、支援が必要な方などの情報を地図上に記載し、迅速に対応できるよう作成された「災害時助けあいマップ」として作成されています。今は、支援が必要な方を日常的に支える目的でも活用されています。

まちづくり委員会を中心に、自主防災組織、健康福祉委員、民生児童委員など地域の関係者によって作成され、情報を共有しています。



マップ作成会議（三穂地区）

移動支援

病院への通院や買い物に出かけることが困難な方のうち、所定の要件を満たす方に対して、福祉車両による有償移送サービスが行われています。講習を受けた地域の方が運転協力者となり、移動のサポートをしています。

また、ご近所さんによる通院や買い物の送迎など、有償移送サービスによらない助け合いの移動支援も行われています。



所定の要件を満たす方が利用できる福祉有償移送サービス

座光寺地区で、地域の課題解決のための新たな取り組みが始まります。

座光寺地区では、ごみ出しが困難な方をご近所の方が支援し、見守りにつながっている事例があります。座光寺地区の健康福祉委員会がこの活動を推進するため、令和5年度から、ごみ出しを支援して下さる方にごみ袋をプレゼントする事業が始まります。後述の地域福祉コーディネーターが、この事業の検討に加わり、飯田市社会福祉協議会の「地域支えあい活動推進助成金」を活用する予定です。

飯田市は、「地域共生社会」の実現に向けて、市内20地区に「地域福祉コーディネーター」を設置(飯田市社会福祉協議会にご委託)しています。

地域福祉コーディネーターでもある、飯田市社会福祉協議会の宮下さんに「地域福祉コーディネーター」について、お聞きしました。



飯田市社会福祉協議会
地域福祉課 地域福祉推進係
宮下 雅恵 係長

Q 地域福祉コーディネーターはどのような役割を担っているのでしょうか。

A 3つの役割があります。

① 困り事に気づく

担当地域を訪問して地域の方と顔なじみになって関係を築くことで地域の課題や個別の困り事を把握しています。

② 関係機関につなぐ

把握した困り事を地域や関係機関の皆さんと連携して、解決の支援をしています。

③ 解決する仕組みをつくる

地域の皆さんと、どうしたら解決できるのかを一緒に考えます。地域福祉検討会の開催など、解決に向けた仕組みづくりにも携わっています。

Q どのような活動をしているのでしょうか。

A 各地区の健康福祉委員会や民生児童委員協議会に出席して

地区内の課題をお聞きしたり、地域の福祉活動の支援などを行ったりしています。ふれあいサ

ロンを訪問して、個々の悩みや困り事も直接お聞きしています。また、月に一度地域福祉コーディネーター会議を行い、情報共有をしています。

Q 地域福祉コーディネーター会議はどのような会議ですか。

A 市の福祉課と社会福祉協議会も参加し、コーディネーターが活動状況を報告します。地区の課題や地域福祉活動の進捗状況を確認し合い、共有しています。ここで共有した課題を、別に開催するコーディネーター学習会の中で議題とし、解決方法の研究もしています。



地域福祉コーディネーター会議の様子

地域の誰もが安心して暮らせるよう助け合い、住み慣れた地域で共に生きていくことができる「地域共生社会」を目指し、市と地域福祉コーディネーターが連携して、地域の困り事の解決や、支え合いの仕組みづくりのサポートをしていきます。「ご近所で困っている方がいる」「地域の困り事を解決する仕組みを作りたいな」など、お気軽にご相談ください。



問い合わせ／福祉課 地域福祉係 内線5711

NHKのど自慢 25年ぶりに飯田市で開催



笑顔がまぶしかった特別賞の高校生4人組



チャンピオンに輝いた千代地区の林さん

「NHKのど自慢」が2月5日、飯田文化会館を会場に公開生放送で行われ、前日の予選を勝ち抜いた18組の皆さんが出場しました。ゲストに水森かおりさんと北島兄弟さんをお迎えし、合格者が8組も出るほどの熱戦に観客の皆さんも一体となり、会場が盛り上がりました。また、天龍峡や人形劇、焼肉の紹介映像とともに、飯田市が全国に発信されました。

千代よこね田んぼ かがりび 棚田を照らす篝火



真冬の棚田に温かい炎が揺らめく

よこね田んぼで1月21日に「篝火の夜」が開催されました。参加者は美しい炎と景色に癒やされながら、焼きマシュマロを食べたり、地元の方の弾き語りや不動太鼓の演奏を聴いたりして楽しみました。

歌手 小沢あきこさん 産業親善大使に任命



飯田紬の着物姿で委嘱状を手にする小沢さん

2月3日、飯田市出身の歌手、小沢あきこさんに「飯田市産業親善大使」の委嘱状を交付しました。4期目に向けて小沢さんは、「飯田の魅力をこれからも紹介していきたい」と意気込みを語りました。



学輪IIDA全体会 大学の知、飯田に集う

和歌山大学観光学部藤井さんの研究報告
学輪IIDAの全体会が1月21日に
ムトスぷらざで開催されました。

3年ぶりの現地開催となった今年
は、フィールドスタディなどで飯田を訪
れている学生の研究報告や、リニア開
通を見据えた多様な知の交流による飯
田の可能性について考えるパネルディ
スカッション、大学の研究者と地元研
究者を講師に、互いに学びあう飯田学
輪大学などが行われました。



知の交流がもたらす飯田の未来を考える

キャリア教育推進フォーラム 生きる力を育む学び



丸山小学校6学年の代表による発表



会の進行をした「結いジュニアリーダー」4期生
「飯田市キャリア教育推進フォーラム」が2月11日
に鼎文化センターで行われました。実践された教育活
動の発表やパネルディスカッションを通じて、幼児期
から高校教育期までつながる学びを通し、生きる力を
育むための教育のあり方を考えました。

現代版 養生訓

危険が予想されるときは、
機械の「電源を切つてから」作業してください

形成外科
水藤元武 医師

もしも指を失ったとして、その状態での日常生活や仕事を想像されたことはありませんか？

何か作業をするときに、指はとても重要な働きをしています。指を失うと、食事や着替え、洗顔、書字など日常生活で必要な動作が急に難しくなります。細かい作業や機械の操作、はさみなどの道具を使うことも難しくなります。さらに、握力が弱くなり重い物や大きな物を持つことも困難になります。

職場の機械や農機具などで指にけがをして、指を失ってしまう方が毎年いらっしやいます。どうしても避けられなかった事故はありますが、多くは

機械の電源を切らずに機械の点検や掃除をしたり、機械に挟まったゴミを取ろうとした時に起こります。指が機械に挟まれると骨は砕け、皮膚や腱も潰れてしまいます。そのような損傷の激しい指は救うことはできず、指を失うことになってしまいます。指が切断された場合は、損傷が軽度であれば太さ1mmほどの血管をつなぐことで指を救えることもあります。しかし術後に長期間にわたるリハビリが必要であり、指の動きは完全に元通りにはなりません。

機械に不具合が生じた際に、「いつもやってるから」「慣れているから」「作業を中断したくないから」

と、電源を切らずに作業をして指を失うと、その後の人生に大変な支障をきたします。指のけがは予防が重要です。大切な指を失わないために、危険が予想されるときは、可能であれば機械の「電源を切つてから」作業を行うように心掛けてください。



飯田市立病院
〒395-8502 飯田市八幡町438
TEL.0265-21-1255

Vol.0025

市長室から

市長 佐藤 健

ご心配をおかけしました



飯田市で25年ぶりのNHKのど自慢が行われた日の朝、喉に痛みを感じて検査キットで調べたところ、コロナの陽性反応が出ました。のど自慢の放送開始前に挨拶することになっていましたので、会場にコロナウイルスを持ち込まずに済んだことは良ししたいと思います。ですが、感染対策の徹底を呼び掛けていた者が感染してしまい、どこかに隙があったのだと反省しております。

例えば、その以前2週間は仕事を終えて夜のうちに移動するようない無理な出張が重なっており、体力・免疫力が落ちていたのだと思います。症状としては、熱は37度台と大したことはありませんでしたが、2、4日目の喉の痛みは結構辛かったです。市販の解熱鎮痛剤が熱には効いた一方、喉の痛みにはあまり効いた感じがなく、トローチやのど飴では太刀打ちできませんでした。

自宅療養中も、オンラインで会議に出席したり、メールのやり取りで仕事は出来たのですが、代理出席をお願いしたり欠席したりした会議・出張・式典も多数あり、関係者の皆さんに大変ご迷惑をおかけしてしまいました。この場をお借りしてお詫び申し上げます。

「コロナとの共生」とは言っても、感染しても構わないということではありません。過度に恐れず、でも気を付けて。医療・福祉施設などの皆さんのことも心に留めながら、上手に舵を切っていければと思います。

学びの宝庫、飯田

～ 大学生からのメッセージ～

No.98

机上をこえて 身をもって学ぶ尊さ

豊橋技術科学大学工学部 4年

下田 遥生さん (岐阜県高山市出身)

私は実務訓練授業の一環で、1月10日から2月22日まで、飯田市役所や自治振興センターに実習という形でお世話になりました。例年開催される飯田シャレットワークショップ(市と豊橋技術科学大学が主催のまちづくりのための短期型ワークショップ)でお世話になったことと、自分の研究対象地の一部が飯田市にあったため、実習先として飯田市を選びました。

大学での講義や研究は机上で行われることがほとんどで、しばしば三現主義が蔑ろにされるきらいがあります。この実習では机上をこえて、実際にどのようなプロセスでまちづくりが行われているのか、まちづくりに際して関係者からどのような意見が挙がってくるのかを身をもって学びました。また、地域自治・住民自治を支える自治振興センターや公民館の存在と位置付けに驚きながらも、その意義や運営に感動いたしました。

今回学ばせていただいた多くのことを噛みしめて、今後の研究活動や社会活動に生かしていきたいと思えます。



市役所で実習



先月の
田口敬治さん(橋北)
からのリレー



今がんばっていること

西岡 健一さん (座光寺)

今頑張っていることは、自転車トラック競技です。飯田市に毎年来るツアー・オブ・ジャパンのようなロードレースと違い、競輪場などにおいて行うブレーキが無い専用自転車で競う少し怖い?イメージを持たれている短・中距離系の競技です。競技歴はブランクもありますが学生時代から約30年で、時々優勝や入賞をしていますが、飯田市からの取材は今までゼロです(笑)。

飯田市の選手は、県外に出ている大学生と風越高校や飯田OIDE長姫高校の生徒、残りは自分だけです。社会人・同世代の選手がおらず、また、仕事との両立の難しさはありますが、飯田市最高齢選手?として今後も戦っていきます。

毎月市民の皆さんに、

①私の健康法 ②感動したこと ③今がんばっていること ④まちづくりへの提言
以上の項目から選んで語っていただき、次の方にボタンタッチする「リレートーク」
です。次はあなたの番かも...



倉田 麟太郎さん
(伊賀良小学校6年)

僕にできること

僕の将来の夢は、ユーチューバーです。何かに落ち込んでいる人がいても、笑わせたら元気になってくれて、だれかの役に立てるからです。

なぜそう思うかと言うと、僕もおもしろい動画を見ていつも笑って元気をもらっているからです。

僕は4月から中学生です。当たり前の事は確実にできるよう、国語や数学に力を入れ、編集の仕方や動画の撮り方を学んでいきたいです。

僕の動画が、みなさんの笑顔につながることを願っています。